



2019年5月15日

各 位

会 社 名 神姫バス株式会社
代表者名 取締役社長 長尾 真
(コード：9083 東証第2部)
問合せ先 企画部長 大谷 隆
(TEL：079-223-1247)

神姫バスグループ中期経営計画（2019年度～2021年度）の策定について

当社グループではこの度、2019年度から2021年度までを計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

1. 計画期間

2019年度から2021年度までの3か年

2. 基本方針

- (1) 事業の選択と集中、コア事業・成長事業を中心とした経営資源の再分配
- (2) 事業の再定義・事業間の横連携・業務改善による生産性の向上
- (3) 既存事業におけるエリア拡大促進

3. 重点施策

- (1) インバウンドをはじめとする観光事業における首都圏～関西にかけての事業展開拡充
- (2) 次世代モビリティへの積極的参画による新たな移動サービスへの挑戦

4. 主要セグメント別施策

(1) 自動車運送

- ・神戸、大阪エリアへの事業基盤拡大
- ・インバウンドをはじめとする顧客利便性向上
- ・MaaSへの注力、中山間地等での輸送課題解決に向けた取り組み

(2) 不動産

- ・総合不動産事業としてのワンストップサービス提供
- ・リフォーム、リノベーション事業の積極的展開

(3) 旅行・貸切

- ・インバウンド需要獲得に向けた積極的展開
- ・上質なツアーブランドの販売拡大によるグループ認知度、イメージアップ、新たな顧客層開拓

5. 数値目標

	2018 年度実績		2021 年度計画
売上高	45,889 百万円		48,000 百万円
営業利益	2,326 百万円		3,000 百万円
経常利益	2,567 百万円	→	3,100 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,750 百万円		2,000 百万円
経常利益率	5.6%		6.5%
ROA (総資産経常利益率)	4.5%		4.8%

6. 設備投資計画

計画3か年で約200億円

以上

(添付資料) 神姫バスグループ中期経営計画(2019▶2021)

適時開示資料



神姫バスグループ

中期経営計画（2019▶2021）

神姫バス株式会社



目次

1. 中期経営計画（2016-2018）の振り返り
2. 当社グループを取り巻く事業環境
3. 基本方針
4. セグメント別施策
5. 内部体制
6. 数値目標
7. 設備投資計画
8. 株主還元方針



中期経営計画（2016-2018）の振り返り

(単位：百万円)

	中期計画	2018年度実績	差異
売上高	46,500	45,889	▲611
営業利益	3,100	2,326	▲774
経常利益	3,300	2,567	▲733
親会社に帰属する 当期純利益	2,100	1,750	▲350
経常利益率	7.1%	5.6%	▲1.5%
総資産経常利益率	5.5%	4.5%	▲1.0%

路線バス旅客の増加や神戸市バスからの路線委譲・管理受託が増加、また物流市場の活況に伴い自動車部品販売が好調に推移しました。

しかしながら、貸切バス稼働減やツアー・手配旅行の計画未達成、飲食店舗出店計画の見直し、指定管理者制度に基づく受託施設数などの計画未達により減収減益となりました。

加えて、人件費や燃料費の増加などもあり、利益を押し下げる結果となりました。



当社グループを取り巻く事業環境

【機会】

- 訪日外国人の更なる増加
- CASEや移動全体のあり方を再構築するMaaSへの対応

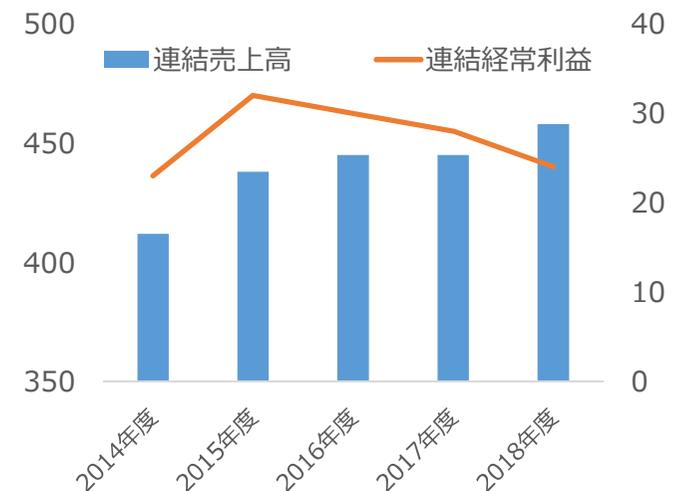
【不確定・ネガティブ要素】

- 少子化・高齢化による労働人口減少や市場縮小
- 働き方改革など労働環境の見直し
- 自然災害の激甚化
- 原油価格、為替の変動
- 不動産価格の高騰

不確定な事業環境変化にうまく対応し、自動車運送・不動産を中心とした更なる利益確保と、インバウンドなど新たな収益の柱を確立する。

⇒グループの持続的発展を目指すうえでの基盤構築が必要

連結業績推移 (単位：億円)



基本方針

本中期3か年は当社グループが全国区企業になるための準備期間と位置付け、以下の3点を基本方針として注力してまいります。

①事業の選択と集中、コア事業・成長事業を中心とした経営資源の再分配

位置付け：自動車運送・不動産…コア事業 / 旅行・貸切…成長事業

②事業の再定義・事業間の横連携・業務改善による生産性の向上

③既存事業におけるエリア拡大促進

特に、以下の2点については重点的に取り組んでまいります。

- **インバウンドをはじめとする観光事業における首都圏～関西にかけての事業展開拡充**
- **次世代モビリティへの積極的参画による新たな移動サービスへの挑戦**

現在東証1部指定を目指し、東証1部上場企業に相応しい会社づくりに取り組んでおります。

その実現によって認知度や信用力を向上させ、人材確保や企業価値向上につなげてまいります。



セグメント別施策 ▶ 自動車運送

神戸、大阪エリアへの事業基盤拡大

- 一般路線拡充、連節バス導入
- 三宮発着の高速バスネットワーク拡充
- 観光需要の取り込み

インバウンドをはじめとする顧客利便性向上

- 神戸、姫路など兵庫県へのインバウンド誘致
- 乗車券アプリPassRuの機能強化など手続き・問合せのオンライン化促進、車内ネット環境整備

MaaSへの注力、中山間地等での輸送課題解決に向けた取り組み

- 大手やスタートアップとの事業連携（CVC出資）
- 自動運転バスなど実証実験への積極的参画
- グループ内の輸送サービスと外部技術の連携



BRTの本格導入に向けて神戸市において連節バスを使った社会実験を実施



チケット購入から乗車までをスマホで完結できる乗車券アプリ



播磨科学公園都市においてSBドライブ(株)と自動運転EVバスの実証実験を実施



セグメント別施策 ▶ 不動産／旅行・貸切

不動産

総合不動産事業としてのワンストップサービス提供

- 管理、修繕、建設、仲介など不動産事業の総合的な取扱いと情報連携強化
- 当社バス路線の沿線開発

リフォーム・リノベーション事業の積極的展開

- 情報収集ルートの特充
- 付加価値向上による地域の活性化



姫路市内で実施中の集合住宅
改装工事

旅行・貸切

インバウンド需要獲得に向けた積極的展開

- 関西～首都圏間の沿線観光資源を組み入れたツアー企画、路線増強
- 大阪からの日帰りツアー拡充と大阪営業所の輸送力拡大
- ネット販売の強化

上質なツアーブランドの販売拡大によるグループ認知度、 イメージアップ、新たな顧客層開拓

- 着地型商品の開発と団体貸切利用の促進



富士山、飛騨高山
など外国人観光客に
人気のスポットを巡る
バスツアー



専用車両ゆいプリマで行く
上質な大人旅「真結」



セグメント別施策 ▶ その他

車両物販・整備

- 大阪エリアでの事業展開、積極的M&A（自動車部品卸売）
- 自動車構造変化に合わせた商材、提供サービスの対応
- 主要整備工場の建替え・設備刷新と工程管理による生産性向上

業務受託

- 運転サービス士のレベル向上に向けた教育体制の強化
- 既存指定管理施設の更なる収支改善・人材育成と新規案件獲得
- 介護施設の収支安定化

レジャーサービス

- 収益拡大を目指した飲食店舗のスクラップアンドビルド
- カフェ併設などツタヤ店舗の魅力向上と運営効率化

その他

- 広告事業の新媒体獲得と収益拡大
- 安心安全を最優先した保育事業の充実



2018年11月リニューアルオープンした
姫路市指定管理施設「星の子館」



2019年4月に開園した
コスモチャイルド保育園三田園



2019年5月15日オープンの
さち福や相鉄フレッサイン神戸三宮店



内部体制

車両運行に関する安全対策

- 乗務員採用強化と指導、教育の強化
- 運行管理従事者の増員
- 乗務員のSAS検診、脳ドック、心疾患検診継続実施
- 保健師による営業所巡回や会議等での保健指導
- 先進安全装置の導入促進
- テロ対策訓練の実施



保健師による保健指導講習



点呼によるコミュニケーション、健康確認

ESG経営の推進

- 電気バス、燃料電池バスなど次世代型車両導入に向けた調査検討
- 従業員や地域社会、株主などステークホルダーとの信頼関係の更なる強化
- 地方創生、街づくりなど地域との共生
- ガバナンス強化に向けた最適なグループ経営体制のあり方検討



警察合同でのテロ対策訓練



数値目標

	2018年度実績		2021年度計画
売上高	45,889 百万円		48,000 百万円
営業利益	2,326 百万円		3,000 百万円
経常利益	2,567 百万円	▶	3,100 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,750 百万円		2,000 百万円
経常利益率	5.6 %		6.5 %
ROA（総資産経常利益率）	4.5 %		4.8 %



設備投資計画

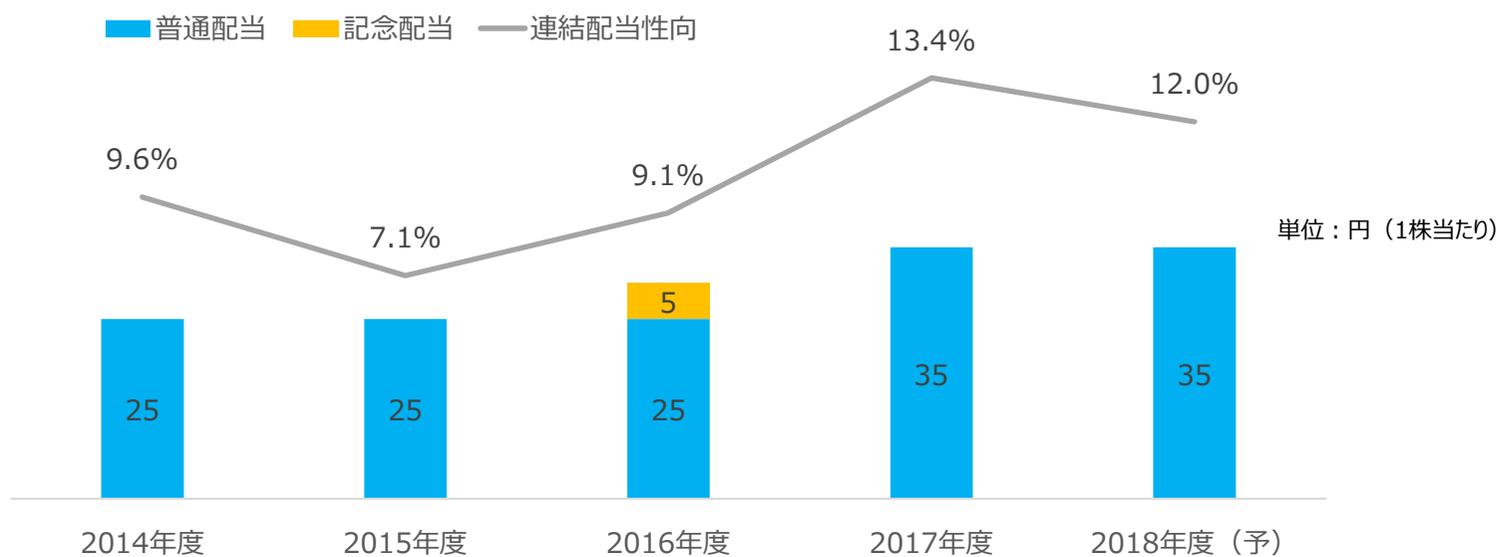
投資額は計画3ヵ年で約200億円

セグメント	設備投資額	主な内容
自動車運送	90億円	車両更新、神戸車庫新設
不動産	50億円	収益物件取得、リノベーション投資
旅行・貸切	10億円	貸切車両更新、システム投資
その他	50億円	整備工場建替え、各事業多店舗展開、CVC出資、M&A
合計	200億円	



株主還元方針

経営環境の変化や将来の事業展開に対応する経営基盤の強化と業績向上を図り、長期的安定配当を基本方針としております。



※当社は2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。比較を容易にするため、それ以前の配当金額を株式併合後の基準で金額換算しております。



參考資料



グループ企業理念・ビジョン・宣言・企業行動憲章

企業理念 地域共栄 未来創成

ビジョン 積み重ねてきたことと
私たちの成長のすべてを、
地域・社会に活かす。
未来につなげる。

行動指針 「誠実に、果敢に、おもしろく」

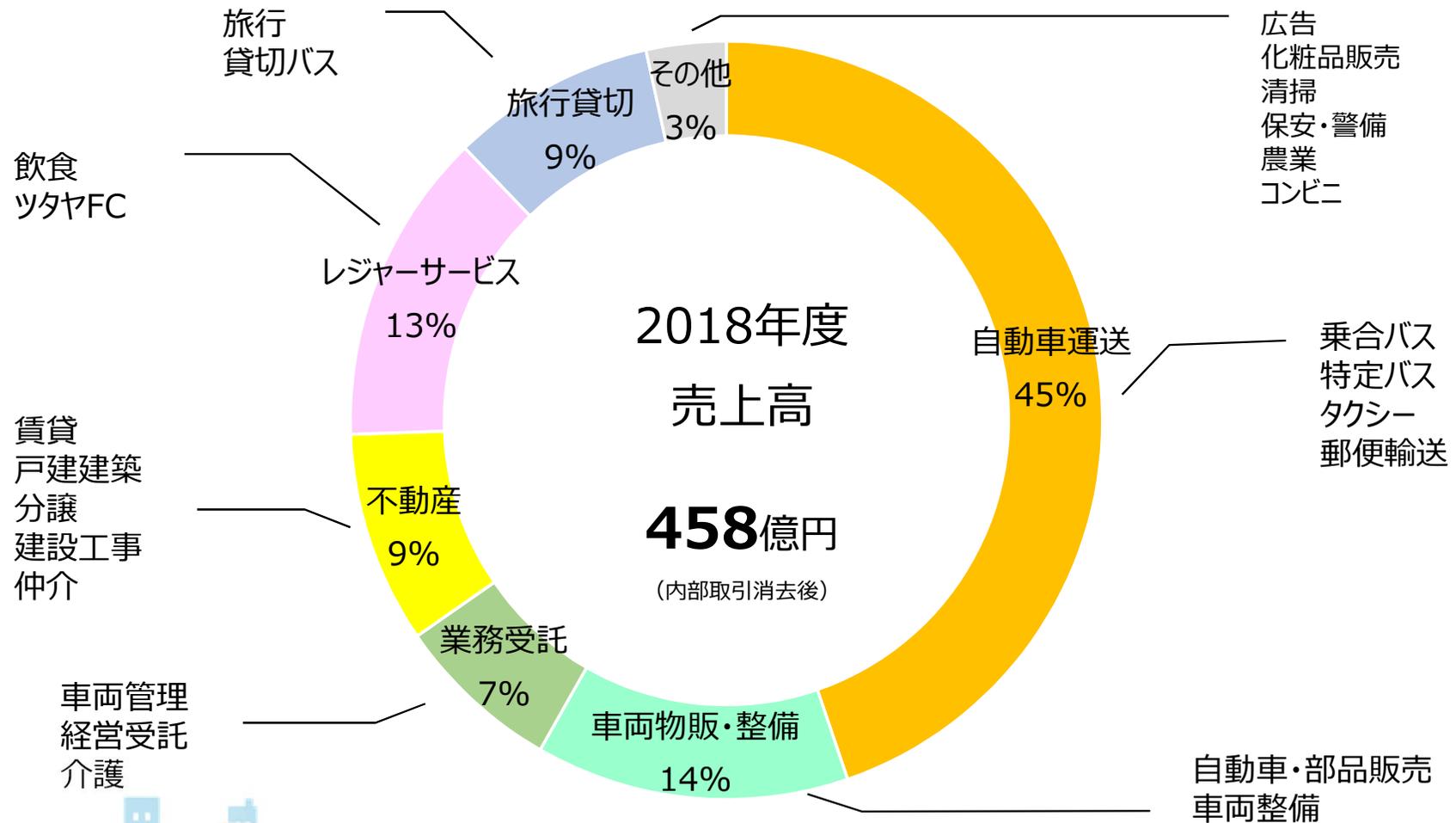
企業行動憲章

神姫バスグループはCSR（企業の社会的責任）活動を推進し、信頼される企業グループであり続けるため、以下の「8つの約束」を定めています。

1. 法令・企業倫理の順守（コンプライアンス）
2. 安全の確保
3. CD（顧客感動）の追求
4. 労働環境の整備
5. 地球環境の保全
6. 福祉の向上
7. 地域社会との共生
8. 反社会的勢力との関係遮断



事業構成



お問い合わせ先

神姫バス株式会社 企画部企画課

電 話 : 079-223-1247

E-mail : kikaku@shinkibus.co.jp

【見通しに関する注意事項】

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

